



さつまいも堀り

カノンの畑で大切に育てたさつまいもも、収穫の時期になりました。まだまだ残暑の残る気候でしたが、いい汗をかきながら、みんなでさつまいも堀りを楽しみました♪



ウイズ 通信

NO.31号
令和4年9月号

年間目標
「なかよくしよう」



毎日、掃除頑張っています！
活動終了後は、分担してウイズの掃除をしています。自分の持ち場の掃除を、支援員と一緒に一生懸命取り組むことで、体を動かす機会にもなっています。

10月の活動内容

- 【日常生活支援学習】
あいさつ
- 【創作活動】
ハロウィンカード
- 【運動レクリエーション】
フリースロー
- 【室内レクリエーション】
魚釣りゲーム・かるた



今月の給食



【季節メニュー】

- ・ご飯 ・きのこ汁
- ・筑前煮
- ・さつまいも天ぷら
- ・さわやか和え
- ・フルーツ

- ・ご飯
- ・ぶっかけ素麺
- ・きんぴら
- ・ピーナッツ和え
- ・漬物
- ・フルーツ

外出報告

- ・ 9/13(火) P M
マリーナシティ方面ドライブ
上野・毛見・原田・脇濱
- ・ 9/20(火) P M
マリーナシティ方面ドライブ
東・山下・岩橋大輔・小倉

9月の誕生日

- 前田 陸 さん
- 岩橋 世歩 さん
- 玉置 円香 さん
- 六車 健太 さん



研修報告

研修名：感染症予防対策研修

日時：令和4年9月7日(水)

研修受講者：福田 美佐

感染は、細菌やウイルスに感染している者（感染源）の嘔吐物や尿・便・分泌物等が何らかの感染経路を通して、感染を受ける人（宿主）に侵入することで感染が広がります。

感染経路には、『飛沫感染』『接触感染』『空気感染』の3つの経路があり、感染源、感染経路、宿主に適切な感染対策を行うことで感染が広がるのを防ぐことができます。

感染対策には標準予防策と感染経路別予防策があり、標準予防策は感染の有無に関わらず、全ての人が感染している可能性があるとして取り扱い、手指衛生や適切な防護服の使用、感染者を早急に把握してゾーニング（エリア分け）することが重要になります。

感染経路別予防策には接触予防策、飛沫予防策、空気予防策があり、標準予防策にプラスして行います。空気予防策は、小粒子（ $5\mu\text{m}$ 以下）に付着した微生物が空気の流れによって拡散する為、感染者の部屋に入る際にはサージカルマスク（ $4\sim 5\mu\text{m}$ 径の粒子を95%以上捕集）かN95マスク（ $0.3\mu\text{m}$ 径の微粒子を95%以上捕集）を着用して対策します。

飛沫は、会話で1m、咳は3m、くしゃみは5m飛ぶ為、集団隔離の場合はベッドの感覚を2m以上離し、間をカーテン等で仕切ったり、感染者に接する時にはサージカルマスクを着用して飛沫予防を行います。

接触予防策は、感染者との直接接触、または感染者が触れた物品を通して感染する間接接触によって感染する為、隔離エリアに入る際には手袋、エプロンを使用し、感染源に直接接触しないように防御します。

床やリネン等に吐物が付着した場合は、次亜塩素酸ナトリウムで拭き取ったり、次亜塩素酸ナトリウムにリネン等を浸して消毒を行うと有効的です。ご家庭に次亜塩素酸ナトリウムが無い場合は、家庭用のキッチンハイターが代わりになり、200ppmを作る場合は水1.5ℓに対してハイター原液5ml（ペットボトルのキャップ約1杯分）を入れ、1000ppmを作る場合は、水1.5ℓに対してハイター原液25ml（ペットボトルのキャップ約5杯分）を入れます。

ウイルスは自分自身で増殖することは出来ず、粘膜などの細胞に付着し、入り込んで増殖する為、手指衛生を実施することで手や鼻、口にウイルスを運ぶのを予防できます。物の材質によっては長時間生存出来るものはありますが、基本的には物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れます。

まだまだコロナウイルス感染症が猛威をふるっているため、今後は施設でも更なる感染症対策を実施し、ま